

# やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会  
 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2  
 ☎0465-85-1900 URL: [http://www.ny.airnet.ne.jp/k\\_sinrin](http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin)

## 定例観察会のお知らせ

毎週土曜・日曜および祝日に「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。  
 午後1時まで、やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月下旬・1月・2月)は安全確保のため休止します。

## 晩秋の水源林、冬の準備中!



寄大橋より水源林を望む

夏が過ぎ、秋が来て多くの実りがあった山も、いよいよ冬の支度が進んでいます。

昆虫たちはすっかり姿を隠しそれぞれの方法で冬を越します。

森林では、落葉樹が葉を落とし昼間は明るい日差しが差し込むようになり、そんな中を野鳥たちが飛び交っています。

さあ、水源林の冬を探してみませんか?



Bコース出口付近  
 まだまだ、紅葉が見られます。



堰堤は水とコケの  
 トーンが美しい。



川筋をゆっくり歩くのも楽しい。

### 水源林の地質

先ごろ、B コース出口付近で行われた改修工事でとても興味深い地層が露出しました。

関東一帯はかつて富士山の噴火に何度も襲われています。やどりき水源林にもその噴火の後がはっきり残っていました。

B コース出口付近の工事では、まさに火山灰が積もって出来た、黒色の玄武岩質火山れき(スコリア)の層がはっきり見られます。

1707年、宝永噴火は、通常の溶岩が噴出す噴火ではなく、火山灰や火山れきを大量に噴出するブルカノ式噴火だったそうです。ただ、やどりき水源林では、その後、1923年の関東大震災で大地がひっくり返るほどの大きな被害を受け、地層にもその様子が見て取れます。



大きく露出した地層。下の方は黒く火山れきが積み重なった層が見て取れます



工事終了後の様子です。地層が折り重なった様子が見られます。

### 冬の楽しみ①野鳥を探そう!

冬は、落葉して森林の中も明るく見通しやすくなる季節です。

寄バス停から水源林への道すがら野鳥観察は如何でしょうか?

可愛い鳥が見つかると思いますよ。



・ジョウビタキ(オス)



・ジョウビタキ(オス)



・ルリビタキ



・セグロセキレイ



・ホオジロ

### 冬の楽しみ②冬の虫

夏から秋に活発だった昆虫も冬には静かな時を迎えます。

じっと耐えて春を待つもの、自然の摂理に従い命を失うもの。

再び訪れる春の命の爆発を前に静かに待っている姿を見つけてみてください。



トックリ蜂の仲間の巣は、冬になるとシェルターに早代わり

・8月撮影,まだ使用中。・12月撮影,入り口はふさがれています。

### 12月のトピックス

周遊Bコースの改修工事ようやく終了、利用できるようになりました。紅葉は最後のチャンス、梢だけでなく足元の落ち葉も楽しめます。



### 1月の水源林

- ・樹木の冬芽の観察に最適です。さまざまな形を楽しめます。
- ・野鳥が引き続き楽しめます。